

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 2月20日

出願番号

Application Number:

特願2002-043434

[ST.10/C]:

[JP2002-043434]

出願人

Applicant(s):

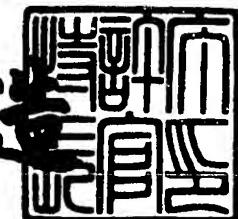
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2002年 3月 8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕



出証番号 出証特2002-3014526

【書類名】 特許願  
【整理番号】 SCEI01208  
【提出日】 平成14年 2月20日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 G06F 15/00  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都港区赤坂 7丁目1番1号 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント内  
【氏名】 大場 章男  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都港区赤坂 7丁目1番1号 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント内  
【氏名】 茶谷 公之  
【特許出願人】  
【識別番号】 395015319  
【氏名又は名称】 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント  
【代理人】  
【識別番号】 100099324  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 鈴木 正剛  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100108604  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 村松 義人  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100111615  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 佐野 良太

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2001- 54386

【出願日】 平成13年 2月28日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 031738

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0109233

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供装置、情報処理装置、情報提供方法、情報処理方法、プログラム、その記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ端末にネットワークを介して接続され、ウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、

前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、

前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする、情報提供装置。

【請求項2】 ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、

キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報が記録されるキャラクタ情報記録手段と、

前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、

前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報、前記キャラクタ情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする、情報提供装置。

【請求項3】 前記巡回番組のインデックス情報を記憶する巡回番組インデックス情報記憶手段をさらに備え、前記巡回番組情報送出手段は前記ユーザ端末からの要求に応じて前記巡回番組のインデックス情報を前記ユーザ端末に送出する、請求項2記載の情報提供装置。

【請求項4】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、

前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項5】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、

前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項6】 ウェブサイト記録手段をさらに備え、前記巡回番組情報解読部は、前記巡回履歴情報によって指定されるすべてのウェブサイトに予めアクセ

スするとともに、そのウェブサイトの情報を前記ウェブサイト記録手段に記録する、請求項5記載の情報処理装置。

【請求項7】 ウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をからなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、

前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示させることを特徴とする、情報提供方法。

【請求項8】 キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をからなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、

前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させることを特徴とする、情報提供方法。

【請求項9】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報

とを含んで構成される巡回番組情報により、ウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって、

前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する処理と、  
を実行することを特徴とする方法。

【請求項10】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって

前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、  
を実行することを特徴とする方法。

【請求項11】 ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、ウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメント

の種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示させる、コンピュータプログラム。

【請求項12】 ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、キャラクタがウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイルと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させる、コンピュータプログラム。

【請求項13】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイルと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、ウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、

前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示

されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する処理と、  
を実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項14】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、

前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、

を実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項15】 請求項11乃至14いずれか1項に記載されたコンピュータプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

##### 【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等のネットワーク上で、豊富な情報の中から、ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行う技術に関する。

##### 【0002】

##### 【従来の技術】

インターネット上、特にインターネットにアクセス可能に接続されたwww(World Wide Web)サイト(以下、単にウェブサイトとも言う)には豊富な情報が溢れおり、全世界で、正確な数がわからないほど多数のウェブ(Web)サイトが構築されている。これにより、インターネットのユーザは、大量の情報に何時で

もアクセス可能な状態にある。

#### 【0003】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかし、情報があまりに大量にあるために、ユーザが、所望の情報がどのウェブサイトにあるかを検索する事が困難になってしまい、せっかくネット上に大量の情報が用意されていても十分に使いこなせないでいるという現状がある。

#### 【0004】

ユーザによるウェブサイト検索をサポートするために、サイト運営者によりディレクトリ分類がされた結果、あるいは自動的にロボット検索またはデータマイニングをした結果などをユーザに提供するポータルサイトが存在するが、かかるポータルサイトはユーザが情報検索する目的が明確な場合には所望の情報を検索することが容易であるものの余暇の時間を使ってネットサーフィンを楽しむときのように情報検索の目的があまり明確でないときには、興味をそそられるようなウェブサイトを検索することが困難であり、結果としてユーザは、つい、いつも視聴しているウェブサイトにアクセスしてしまいがちである。

#### 【0005】

また、ポータルサイトによる機械的な分類や自動的なデータマイニングは、ウェブサイトの検索の際に検索指向が著しく限定され、幅広い分野からの検索、散策的なウェブサイト検索を妨げている。

以上のようなことから、ネットワーク上には豊富な情報があるにも関わらず、広範な範囲の情報を得ることが難しくなっている。

#### 【0006】

よって、本発明の目的は、ネットワーク上のウェブサイトにある情報を、ユーザに興味を持たせるように編集した番組を作成し、ユーザ端末においてそのようなウェブサイトにある情報を自動的に再生可能にするための技術を提供することにある。

#### 【0007】

さらに、本発明の他の目的は、いわゆるカリスマと呼ばれるような有名人、専門家、仮想的なキャラクタ（以下まとめて、カリスマキャラクタと呼ぶ。）が、

それらの個性・特徴を反映した視点から、実際にインターネット上のウェブサイトを巡回した過程を、ウェブサイト巡回履歴情報として編集した巡回履歴情報を所定の演出情報とともに再生することにより、ユーザに対し、あたかもカリスマキャラクタが興味深いウェブサイトを実際に案内しているかのように感じさせ、ユーザの興味を深めるための技術を提供することにある。

#### 【0008】

##### 【課題を解決するための手段】

上記課題に対応した本発明の情報提供装置は、ユーザ端末にネットワークを介して接続され、ウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、

前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする。

#### 【0009】

上記課題に対応した本発明の他の情報提供装置は、ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報が記録されるキャラクタ情報記録手段と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報、前記キャラクタ情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする。

上記他の情報提供装置は、前記巡回番組のインデックス情報を記憶する巡回番組インデックス情報記憶手段をさらに備え、前記巡回番組情報送出手段は前記ユーザ端末からの要求に応じて前記巡回番組のインデックス情報を前記ユーザ端末に送出する、ようにも構成することができる。

#### 【0010】

上記課題に対応した本発明の情報処理装置は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

#### 【0011】

上記課題に対応した本発明の他の情報処理装置は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

上記他の情報処理装置は、ウェブサイト記録手段をさらに備え、前記巡回番組情報解読部は、前記巡回履歴情報によって指定されるすべてのウェブサイトに予

めアクセスするとともに、そのウェブサイトの情報を前記ウェブサイト記録手段に記録する、ように構成することもできる。

#### 【0012】

上記課題に対応した本発明の第1の方法は、ウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とかなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示させることを特徴とする。 上記課題に対応した本発明の第2の方法は、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とかなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させることを特徴とする。

#### 【0013】

上記課題に対応した本発明の第3の方法は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミング

とを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、ウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する処理と、を実行することを特徴とする。上記課題に対応した本発明の第4の方法は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、を実行することを特徴とする。

#### 【0014】

上記課題に対応した本発明の第1のコンピュータプログラムは、ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、ウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画

面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示させることを特徴とする。上記課題に対応した本発明の第2のコンピュータプログラムは、ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、キャラクタがウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報を、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報をまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させる、ことを特徴とする。

#### 【0015】

上記課題に対応した本発明の第3のコンピュータプログラムは、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記ウェブサイトについてのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、ウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記コメントとを時系列的に表示する処理とを実行させることを特徴とする。

上記課題に対応した本発明の第4のコンピュータプログラムは、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報を、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類

およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報を含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、を実行させることを特徴とする。

上記のコンピュータプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録することも可能である。

#### 【0016】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面を参照して詳細に説明する。

図1は、本発明の一実施形態の全体構成を概略図示したものである。

本実施形態では、巡回番組提供サイト10とユーザ端末20とがネットワークLを介して接続される。ネットワークLは、インターネット、イントラネット等の多数のユーザがアクセス可能なものである。

ウェブサイトを巡回しながら各ウェブサイトの紹介を行う番組（以下、巡回番組と呼ぶ。）を記述する巡回番組情報が巡回番組提供サイト10により提供される。ユーザは、この巡回番組情報を、ネットワークLを介してユーザ端末20により入手する。ユーザ端末20は、入手した巡回番組情報に従って、ネットワーク上のウェブサイトにアクセスし、ディスプレイ30に巡回番組を表示（再生）する。

#### 【0017】

図1に示すように、ディスプレイ30の画面に表示される画像は、ユーザ端末20全体の制御を行うオペレーティングシステム、一般的なウェブブラウザ（例えば、マイクロソフト社のInternet Explorer）および本発明のソフトウェアによって表示制御される。ディスプレイ30の画面は、アクセスしたウェブサイトの画像が表示される領域31、キャラクタの画像32、カリスマキャラクタのコ

メントが表示される領域33を備えている。巡回番組情報により指定されるウェブサイトの情報が領域31に表示され、そのウェブサイトに関するカリスマキャラクタのコメントが領域33に表示される。これにより、ユーザ端末20のユーザは、カリスマキャラクタがアクセスした、あるいは推薦するウェブサイトと同じウェブサイトに自動的にアクセスし、カリスマキャラクタの視点を通して新たなウェブサイトへのアクセスを行うことになる。

また、ユーザは、ディスプレイ30に表示された巡回番組によって、今まで自分が知らなかったウェブサイトについて認知することができるようになる。なお、巡回番組は、ディスプレイ30内に、ウェブブラウザによって表示される。

#### 【0018】

これらの巡回番組提供サイト10やユーザ端末20は、ネットワークL上に、多数設けることができる。また、ネットワークL上には、巡回番組に基づきカリスマキャラクタによって紹介されることになるウェブサイトが構築されたWWWサーバも配置されている。

#### 【0019】

##### <巡回番組提供サイト>

巡回番組提供サイト10は、CPU、メモリ、入出力装置およびネットワークLとの通信を行う通信インターフェイスを備えた情報処理装置（コンピュータ）である。巡回番組提供サイト10には、CPUがメモリからプログラムやデータを読み込んで実行することにより、図2に示すような機能ブロックが形成される。

すなわち巡回番組提供サイト10は、巡回番組情報管理部101と、巡回履歴情報12が記録される巡回履歴情報記録部102と、カリスマキャラクタ情報13が記録されるキャラクタ情報記録部103と、ストーリー情報14が記録されるストーリー情報記録部104と、巡回番組インデックス情報15が記録される巡回番組インデックス情報記録部105と、ネットワークLを介して行われるユーザ端末20との通信を制御する通信制御部106と、図示しないキーボード、マウス等の入力装置が接続される外部入力部107とを備えている。

#### 【0020】

巡回番組情報管理部101は、巡回番組インデックス情報記録部105に記録

された巡回番組インデックス情報15を読み込んで、巡回履歴情報記録部102、キャラクタ情報記録部103、ストーリー情報記録部104にそれぞれ記録された情報を互いに関連付けてひとつの巡回番組情報としてまとめ、ユーザ端末20から要求があると、要求された巡回番組情報を通信制御部106を介して当該ユーザ端末20へ送る機能を有する。

ここで、巡回番組インデックス情報15について説明する。巡回番組インデックス情報15は、各記録部102～104に記録された巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14の情報をひとつの巡回番組として互いに関連付けるレコードから構成される。図3は、巡回番組インデックス情報15のレコードの一例を示す図である。巡回番組インデックス情報15の各レコードは、巡回履歴IDフィールド111、キャラクタIDフィールド112、ストーリーIDフィールド113、番組タイトル名フィールド114から構成される。

ここで、巡回履歴IDフィールド111には巡回履歴情報12を特定するための巡回履歴IDが入力され、キャラクタIDフィールド112にはキャラクタ情報13を特定するためのキャラクタIDが入力され、ストーリーIDフィールドにはストーリー情報14を特定するためストーリーIDが入力される。また、番組タイトル名フィールド114には、それぞれの巡回番組に付けられたタイトルが入力される。キャラクタIDフィールド112には、巡回番組の種類に応じて2以上のIDが設定される場合がある（これについては後述する。）。

#### 【0021】

ユーザ端末20は、巡回番組提供サイト10から送信される、巡回番組インデックス情報15中の番組タイトル名フィールド114を読み込むことにより、ディスプレイ30の画面に番組のタイトル名の一覧を表示し、ユーザが所望の巡回番組を選択可能にする。また、ユーザ端末20は、巡回番組提供サイト10から番組タイトル名フィールド114とともに送信される、後述されるカリスマキャラクタの画像情報133を読み込むことにより、ディスプレイ30の画面に番組のタイトル名の一覧とともにカリスマキャラクタの画像を表示し、ユーザが所望のカリスマキャラクタを選択可能にすることもできる。

## 【0022】

巡回履歴情報記録部102には、複数のキャラクタの巡回履歴情報12が記録される。

巡回履歴情報12は、カリスマキャラクタが行ったウェブサイトの巡回履歴であり、例えば、特定のテーマに従ってウェブサイトの巡回を行った際に辿ったウェブサイトのURL (Uniform Resource Locator) の羅列である。図4は、巡回履歴情報12の例である。巡回履歴情報12は、各巡回履歴固有の番号である巡回履歴ID121、URLの羅列である巡回履歴122を備える。

## 【0023】

カリスマキャラクタは、実在の人物でもよいし、人工的な人格を持つ仮想的な人物でもよい。ここでカリスマキャラクタとは、社会的にその個性、特徴等の人格が明確に理解されうる人物をいう。例えば、実在の有名人（例：有名な美容師）や専門家（美術品鑑定家）、あるいは仮想的に社会的な位置付けができる人物（神奈川県在住の買い物上手な主婦等）である。

実在の人物をモチーフとした場合、当該人物に実際にインターネット上でウェブサイト検索（ウェブサーフィン）を行ってもらい、その結果から巡回履歴情報12を作成する。カリスマキャラクタが仮想的な存在の場合は、巡回番組提供サイト10の管理者側で、そのカリスマキャラクタであればそうするであろうという仮定のもとに、インターネット上でウェブサイト検索を行い、巡回履歴122を作成することになる。

キャラクタ情報記録部103には、複数のカリスマキャラクタについてのカリスマキャラクタ情報13が記録される。

## 【0024】

カリスマキャラクタ情報13は、カリスマキャラクタの名前等のキャラクタ自身の情報、巡回番組中に画面に表示される画像情報等からなる。図5は、カリスマキャラクタ情報13の例を示す図である。カリスマキャラクタ情報13は、カリスマキャラクタを識別するためのキャラクタID131、カリスマキャラクタのプロフィール132、カリスマキャラクタの画像情報133を備える。画像情報133により表されるカリスマキャラクタの画像は、写真や動画、似顔絵、イ

ラスト等、そのカリスマキャラクタを表すすべての画像を含む。

#### 【0025】

ストーリー情報記録部104には、複数のストーリー情報14が記録される。

ストーリー情報14は、巡回履歴情報12により得られるウェブサイトの巡回履歴と、カリスマキャラクタ情報13により得られるカリスマキャラクタの画像とを組み合わせてストーリー立てた番組としてユーザに見せるために、ウェブページを表示するタイミング（またはウェブサイトにアクセスするタイミング）や、そのときに表示するカリスマキャラクタの画像、その他の画像制御情報、カリスマキャラクタのコメントを記述した情報である。

図6は、ストーリー情報14の例を示す図である。ストーリー情報14は、ストーリーID141、ブラウザ制御シーケンス142、アニメーション制御シーケンス143、コメント144を備える。ストーリーID141は、そのストーリーの識別情報である。ブラウザ制御シーケンス142は、ブラウザの起動やブラウザによるウェブサイトへのアクセスのタイミングが記述される。また、アニメーション制御シーケンス143には、ユーザ端末の表示画面におけるブラウザの表示領域以外の領域に、アニメーション（静止画を含む）を表示させるための情報（カリスマキャラクタの画像を特定する情報）、表示のタイミングが記述される。さらに、コメント144は、表示したウェブサイトについてのカリスマキャラクタのコメントを記述したものである。

#### 【0026】

通信制御部106は、ネットワークLを介したユーザ端末20との通信を制御する。特に、ユーザ端末20からの要求を受信し巡回番組情報管理部101にその要求を伝達し、巡回番組情報管理部101から受け取った巡回番組情報をネットワークLを介してユーザ端末20へ送信する。

外部入力部107は、キーボード・タブレット等の入力装置からの入力に従って、巡回履歴情報記録部102、キャラクタ情報記録部103、ストーリー情報記録部104、巡回番組インデックス情報記録部105に各種の情報（巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14、巡回番組インデックス情報15を含む。）を記録する。

## 【0027】

巡回番組提供サイト10は、ネットワークLを介してユーザ端末20からアクセスがあると、ユーザ端末20のディスプレイ30の画面に巡回番組インデックス情報記録部105に記録された巡回番組インデックス情報15に基づく画像を表示させるように機能する。ディスプレイ30に表示される画像には、巡回番組に対応付けられたボタンが表示される。図7は、巡回番組情報インデックス情報15に基いてディスプレイ30に表示された画像および各画像に対応付けられたボタン61の一例を示す図である。このボタン61のいずれかをユーザがマウス等のポインティングデバイスで選択操作することにより、操作されたボタンに対応するボタン識別情報が巡回番組提供サイト10に送信される。選択されたボタンに対応する巡回番組情報が、巡回番組提供サイト10からユーザ端末20へ送信される。

上記選択画面表示の制御、選択されたボタン情報の送信は、HTML (Hyper Text Markup Language) およびウェブブラウザを使用したウェブ技術を用いて実現できる。

## 【0028】

## &lt;ユーザ端末&gt;

ユーザ端末20は、例えば、CPUや、メモリ、入出力装置、ネットワークLとの通信を行う通信インターフェースを備えた通常のパーソナルコンピュータ等の情報処理端末である。ユーザ端末20には、CPUがメモリからプログラムやデータを読み込んで実行することにより、図8に示すような機能ブロックが形成される。

すなわちユーザ端末20は、通信制御部201と、巡回番組情報解読部202と、画面表示制御部203と、ウェブサイト記録部204と、外部入力部205と、ブラウザ206とを備えている。

## 【0029】

通信制御部201は、ネットワークLを介した巡回番組提供サイト10との通信を制御する。特に、巡回番組提供サイト10へ巡回番組情報の送信要求を行うと共に、巡回番組提供サイト10から巡回番組情報を受信する。また、ブラウザ

206の要求に応じて、巡回番組提供サイト10以外のネットワーク上上のウェブサイトへのアクセスを制御する。

#### 【0030】

巡回番組情報解読部202は、通信制御部201により受信した巡回番組情報を取り込み、これを解読する。

画面表示制御部203は、巡回番組情報解読部202により解読された巡回番組情報に従って、ブラウザの起動や終了、ブラウザ206を介したウェブサイトへのアクセスを制御する。また、外部入力部205からの入力に応じて、ブラウザ206によるウェブサイトへのアクセスを制御するとともに、ディスプレイ30の画面に表示される、ウェブサイトの情報以外の情報（カリスマキャラクタ画像、コメント等）の表示の制御を行う。

ウェブサイト記録部204には、アクセスしたウェブサイトの情報が格納される。

#### 【0031】

外部入力部205は、キーボードやマウス等の入力装置による入力に従って、入力された情報を画面表示制御部203へ送る。

ブラウザ206は、標準的なブラウザ（例えば、Internet Explorer）であって、ディスプレイ30にウィンドウを開き、アクセスしたウェブサイトから受信した情報をそのウィンドウ内に表示する。

#### 【0032】

巡回番組情報解読部202及び画面表示制御部203で行われる処理について、さらに詳細に説明する。

まず、巡回番組情報解読部202は、巡回番組情報を解読して、巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14を抽出する。

#### 【0033】

次に、巡回番組情報解読部202は、巡回履歴情報12を画面表示制御部203へ送る。画面表示制御部203は、巡回履歴122に記述されたウェブサイトへブラウザ206を介してアクセスし、巡回履歴122で指定されたすべてのウェブサイトに含まれる情報をウェブサイト記録部204に格納する。このように

巡回履歴情報12で指示されるウェブサイトの情報を予めウェブサイト記録部204にダウンロードしておくことにより、ネットワークの混雑状態に関係なく、ディスプレイ30に確実にウェブサイトの情報を表示できるようになる。

ただし、このようにウェブサイトの情報を事前にウェブサイト記録部204に記憶させておくことは、本発明において必須の事項ではない。後述するブラウザ制御シーケンスに従って、巡回履歴情報12で指示されるウェブサイトにその都度アクセスするようにしてもよい。

#### 【0034】

続いて、巡回番組情報解読部202による、ストーリー情報14のブラウザ制御シーケンス142およびアニメーション制御シーケンス143の実行について説明する。図9は、ブラウザ制御シーケンス142、アニメーション制御シーケンス143の一例を示す図である。

まず、巡回番組情報解読部202は、ストーリー情報14のブラウザ制御シーケンス142を実行して、画面表示制御部203へ指示を出す。例えば、時刻「0：00：00」にブラウザを起動してディスプレイ30にそのウィンドウを表示するように、時刻「0：00：10」にwww.aaa.comのウェブサイトにアクセスするように、画面表示制御部203に指示を出す。予めwww.aaa.comのウェブサイトの情報をウェブサイト記録部204にダウンロードしてある場合には、画面表示制御部203に指示して該当する情報をウェブサイト記録部204から読み出させる。画面表示制御部203は、ブラウザ制御シーケンスに基づいて、ブラウザ206を制御し、巡回履歴情報12に記述されたウェブサイトの情報（またはダウンロードされた情報）を自動的に表示させる。

また、巡回番組情報解読部202は、ストーリー情報14のアニメーション制御シーケンス143を実行するように、画面表示制御部203へ指示を出す。例えば、時刻「0：00：00」にディスプレイ30にカリスマキャラクタの画像を表示し、時刻「0：00：15」にそのコメントをカリスマキャラクタ画像の横に表示させる。アニメーション制御シーケンス143によって、CGアニメーション、ムービー、音声からなるより動きの多いアニメーションを表示させてもよい。

## 【0035】

ブラウザ制御シーケンスとアニメーション制御シーケンスとの同期は、画面表示制御部203に供給される基準時刻情報（図示せず）に基づいて行う。すなわち、図9に示すように、それぞれのシーケンスには発生させるべきイベント（ウェブサイトへのアクセス、カリスマキャラクタ画像の表示、コメントの表示等）とその発生時刻とが記述されており、巡回番組情報解読部202は、その発生時刻に基づいて画面表示制御部203へ指示を出す。基準時刻情報は、ブラウザ制御シーケンスおよびアニメーション制御シーケンスの開始時にリセットされる。

## 【0036】

巡回番組を表示中に外部入力部205から指示がある場合は、巡回番組情報解読部202からの指示を中断して、外部入力部205からの指示を実行する。例えば、あるウェブサイトの情報がディスプレイ30の領域31に表示されるとともに、カリスマキャラクタの動画が表示される巡回番組の実行中に、マウスにより新しいブラウザを起動する指示を与えると、巡回番組の進行を中断してカリスマキャラクタの動画が止まり、新たなブラウザを起動するようになる。

追加的な情報として、ブラウザ制御シーケンス142またはアニメーション制御シーケンス143と関連付けて、ストーリー情報14に分岐自由度情報を加えてもよい（図示せず）。分岐自由度情報は、ブラウザ制御シーケンスに従ってウェブサイトの情報が表示されているときに、ユーザの操作による巡回番組の進行の中止、他のブラウザの起動を制限するための情報である。ここで分岐自由度情報は複数の自由度レベル、例えば3段階（レベル1～3）のレベルを持つように設定できる。3段階の自由度を設定した場合、レベル1でユーザの操作を完全に許可、レベル2で一定条件下で操作を許可、レベル3で操作を完全に禁止する、というように制限のレベルを変化させることが可能である。分岐の自由度（ユーザによる操作の制限）は、上記基準時刻情報に基き、上記自由度レベルを記述することによって設定できる。分岐自由度情報は、巡回番組情報解読部202によって順次解読され、画面表示制御部203は巡回番組情報解読部202からその制限レベルを受け取って、ユーザによる巡回番組進行中の操作を制限する。

## 【0037】

## &lt;運用形態&gt;

以上のような構成によるウェブサイトの巡回番組の提供は、以下のように行われる。図10のフローチャートを用いて説明する。

ユーザは、ユーザ端末20により、ネットワークLを介して巡回番組提供サイト10にアクセスする（ステップS10）。巡回番組提供サイト10にアクセスすると、上述のディスプレイ30には巡回番組提供サイト10のページが表示される（図7）。ディスプレイ30の表示から、ユーザが、入力装置により選択することにより、巡回番組提供サイト10に所望の巡回番組の要求を行う（ステップS20）。

## 【0038】

ユーザ端末20から巡回番組の要求があると、巡回番組提供サイト10は、要求に基づいた巡回番組情報を、要求のあったユーザ端末20へ送る（ステップS30）。

詳細には、ユーザ端末20からの要求が巡回番組ボタン61を選択することにより行われると（ボタン識別情報を受け取ると）、巡回番組情報管理部101は、選択された巡回番組ボタン61に対応する巡回番組情報を各記録部102～105から取り込み、通信制御部106からネットワークLを介して、要求元のユーザ端末20へ送る。

## 【0039】

巡回番組情報を入手したユーザ端末20は（ステップS40）、巡回番組情報解読部202により巡回番組情報を解読して、巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14を抽出し、これらの情報により、ディスプレイ30に巡回番組を表示する（ステップS50）。

## 【0040】

このようにして、ユーザは、所望の巡回番組をディスプレイ30により視聴することができる。巡回番組により、カリスマキャラクタの視点で行われるウェブサイト巡回を通して新たなウェブサイトを知ることができる。

巡回番組を表示中に、例えば、番組中に出てきたウェブサイトに興味を持ち、

自分で独自にアクセスしたい場合などは、別のブラウザを起動し、起動したブラウザのブラウザ画面に表示させることもできる。このような場合、巡回番組を中断して、ユーザが開いたブラウザの終了や、復帰操作を待って再開するようとする。これは、画面表示制御部203が、外部入力部205を介したユーザの要求に応じて、別のブラウザを起動した際に巡回番組の再生を中断し、また別のブラウザを終了させた際に巡回番組の再生を再開することにより実現可能である。これにより、巡回番組を表示中でも、ユーザは、所定の操作によりブラウザを起動して所望のウェブサイトへアクセスして、情報を得ることができる。

前述のとおり、ストーリー情報14に分岐自由度情報が付加されている場合には、その自由度レベルによっては、別ブラウザの起動が制限される場合がある。

#### 【0041】

##### <実施例>

以下に、カリスマキャラクタを複数用いることにより、巡回番組をテレビのいわゆる情報クイズ番組の形式で作成してユーザに提供する実施例について説明する。

この巡回番組は、ディスプレイ30に図11のような構成で表示される。この画面上では、カリスマキャラクタとして、司会者71、解答者72、解答者73及び出題者74が表示される。

#### 【0042】

司会者71は、この巡回番組の進行を行うカリスマキャラクタである。進行は、ストーリー情報14のブラウザ制御シーケンス142およびアニメーション制御シーケンス143に基づいて行われる。巡回番組の進行に必要な司会者71のコメントは、アニメーション制御シーケンス143に基づき、コメント領域71aに表示される。

#### 【0043】

解答者72、73は、それぞれ異なるプロフィールを持っており、巡回履歴情報12もそれぞれに持っている。それぞれの巡回履歴情報12により特定されたウェブサイトの情報が、それぞれウェブサイト表示領域72a、73aに表示される。また、クイズに対する解答もウェブサイト表示領域72a、73aに表示

される。解答者のプロフィールは、プロフィール表示領域72b、73bに表示される。プロフィールは、カリスマキャラクタ情報13のプロフィール132に基づいて表示される。

#### 【0044】

出題者74は、クイズの問題に関する専門家であり、出題、正解の説明、講評などを行う。図11の場合は、出題者74はコックであり、料理の専門家であることを視覚的にわかりやすく表している。出題、正解の説明、講評などは、表示領域74aに表示される。出題や正解の説明もウェブサイトを巡回しながら行うことができ、この巡回順序を示すために、出題者74も巡回履歴12を持ってい

る。

#### 【0045】

このような情報クイズ番組形式の巡回番組を作成するために、巡回番組情報管理部101は、巡回番組インデックス情報15に基き、キャラクタ情報記録部103から、司会者71、解答者72、73、出題者74のキャラクタ情報を読み出す。

出題者74は、出題内容に応じて、その分野の専門家を設定する。専門家か否かは、プロフィール132により判断する。出題内容は、外部から入力される。

解答者72、73は、出題内容に関する巡回履歴を記録させたカリスマキャラクタを選択する。なお、解答者の数は、2人に限られていないことは言うまでもない。解答者は、できるだけ異なる個性を持ったカリスマキャラクタを選ぶようになると、解答の幅が広がり、より多様なウェブサイトへのアクセスを提供できる。

#### 【0046】

そして、巡回番組情報管理部101は、巡回番組インデックス情報15に基き、解答者72、73及び出題者74の巡回履歴情報12を巡回履歴情報記録部102から読み出す。解答者72、73の巡回履歴情報12には、出題に対する解答を導き出すために、それぞれの個性に合った順序の巡回履歴が記述される。解答者72、73の巡回履歴には、正解があるウェブサイトのURLが含まれる必要は必ずしもない。出題者74の巡回履歴情報12は、出題に対する正解を導き

出すための巡回履歴を示す。例えば、正解が「www.zzz.com」というURLのウェブサイトにある場合、出題者の巡回履歴情報12には、「www.zzz.com」のURLがどこかに含まれる。

#### 【0047】

次に、巡回番組情報管理部101は、巡回番組インデックス情報15に基き、ストーリー情報記録部104からストーリー情報14を読み出す。ストーリー情報14は、例えば、以下のようなストーリーを提供する。

#### 【0048】

まず、最初にブラウザ206を起動させる。次いで、司会者71が登場し、番組のオープニングのコメントをコメント領域71aに表示させる。次いで、解答者72、73を表示させる。このとき、解答者72、73のプロフィールをそれぞれのプロフィール表示領域72b、73bに表示させる。次いで、出題者74を登場させる。このとき、司会者71が出題者74を紹介するようなコメントを、コメント領域71aに表示させる。

#### 【0049】

次いで、表示領域74aに問題を表示させる。次いで、解答者72が、問題に対する解答を得る過程を、ウェブサイト表示領域72aに表示させる。解答を得る過程が、ウェブサイトを巡回して表示する過程に対応する。次いで、解答者73が、問題に対する解答を得る過程を、ウェブサイト表示領域72aに表示する。

次いで、問題に対する正解を表示領域74aに表示させる。そして、正解を得る過程を表示させる。正解を得る過程も、ウェブサイトを巡回して表示する過程に対応する。

問題の表示から、正解の説明の間、司会者71がコメント領域71aに気の利いたコメントをしているように、コメントを表示させてもよい。

#### 【0050】

各コメント、解答者72、73のプロフィール、司会者71、解答者72、73、出題者74の画像は、カリスマキャラクタ情報13に含まれている。ウェブサイトの巡回は、巡回履歴情報12により示される順序で行われる。

## 【0051】

以上の巡回番組の表示制御は、巡回番組情報解読部202、画面表示制御部203およびブラウザ206が、巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14中のブラウザ制御シーケンス142、アニメーション制御シーケンス143、コメント144に基づいて行う。詳細には、ウェブサイト表示領域72a、73a、74aは、ウェブブラウザ206によって制御される領域であり、司会者71、解答者72、解答者73及び出題者74の画像、司会者71のコメント領域71a、解答者72・73のプロフィール表示領域72b、73bは画面表示制御部203によって表示制御される。

## 【0052】

前述したようなストーリーを提供することにより、ユーザに情報クイズ番組を通じた各ウェブサイトの情報を提供可能になる。ユーザは、出題者74による、問題に対する専門的な目、解答者72、73による、それぞれのカリスマキャラクタの個性にあった目により、様々な切り口の解答を得ることができる。

このようにして、1つの問題に対する様々な解答を通じて、様々な分野の多くのウェブサイトの存在を知ることができ、ネットワーク上から豊富な情報を得ることができる。

以上、本発明を特定の実施形態に則して説明してきたが、本発明は上記実施形態に限定されるものではない。

例えば、上記実施形態においては、ディスプレイの画面に表示されたキャラクタが画面上でしゃべるような演出をしてウェブサイトの紹介をしているが、このようなキャラクタによる演出は本発明にとって必須ではない。特定の視点（例えば、カリスマキャラクタ）から選んだウェブサイトを、そのコメントとともに紹介していることがユーザに理解されればそれでよい。

従って、画面にウェブサイトを表示するとともに、そのウェブサイトについてのコメントを画面に表示するだけでもよい。このような別の実施形態においては、巡回番組提供サイトにキャラクタの画像情報を記憶させる必要はない。この場合、ユーザによるキャラクタ選択を容易にするためにより詳しいキャラクタのプロフィールを記憶させておいて、それを画面に表示することとしてもよい。

【0053】

【発明の効果】

以上の説明から、本発明により、ネットワーク上のウェブサイト情報をユーザに興味を持たせるように編集した番組を作成し、ユーザ端末においてそのようなウェブサイト情報を自動的に再生可能にすることができます。

また本発明の応用により、カリスマキャラクタに応じたウェブサイトの巡回を通じて、ユーザに、様々なウェブサイトを紹介し、ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行うことができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本実施形態のシステム全体の構成図。

【図2】

巡回番組提供サイトの機能ブロック図。

【図3】

巡回番組インデックス情報15の例示図。

【図4】

巡回履歴情報12の例示図。

【図5】

カリスマキャラクタ情報13の例示図。

【図6】

ストーリー情報14の例示図。

【図7】

巡回番組提供サイト10のページの初期画面。

【図8】

ユーザ端末の機能ブロック図。

【図9】

ブラウザ制御シーケンス、アニメーション制御シーケンスの例示図。

【図10】

巡回番組の提供方法のフローチャート。

## 【図11】

巡回番組を情報クイズ番組の形式で作成したときの画面。

## 【符号の説明】

10 巡回番組提供サイト

12 巡回履歴情報

13 カリスマキャラクタ情報

14 ストーリー情報

15 巡回番組インデックス情報

101 巡回番組情報管理部

102 巡回履歴情報記録部

103 キャラクタ情報記録部

104 ストーリー情報記録部

105 巡回番組インデックス情報記録部

106 通信制御部

107 外部入力部

20 ユーザ端末

201 通信制御部

202 巡回番組情報解読部

203 画面表示制御部

204 ウェブサイト記録部

205 外部入力部

206 表示制御部

30 ディスプレイ

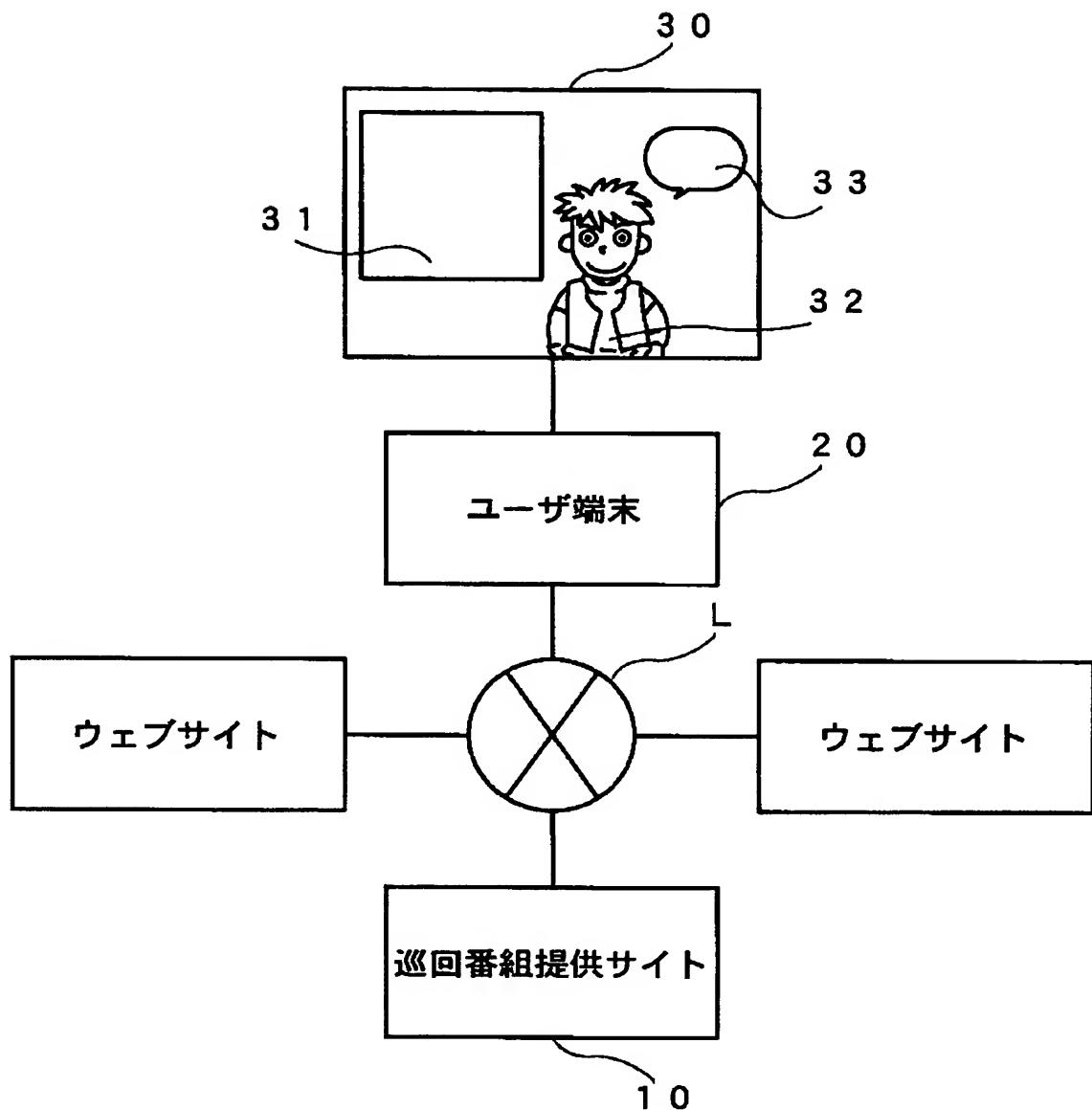
31 ウェブサイトの画像が表示される領域（ブラウザのウィンドウ）

32 カリスマキャラクタの画像

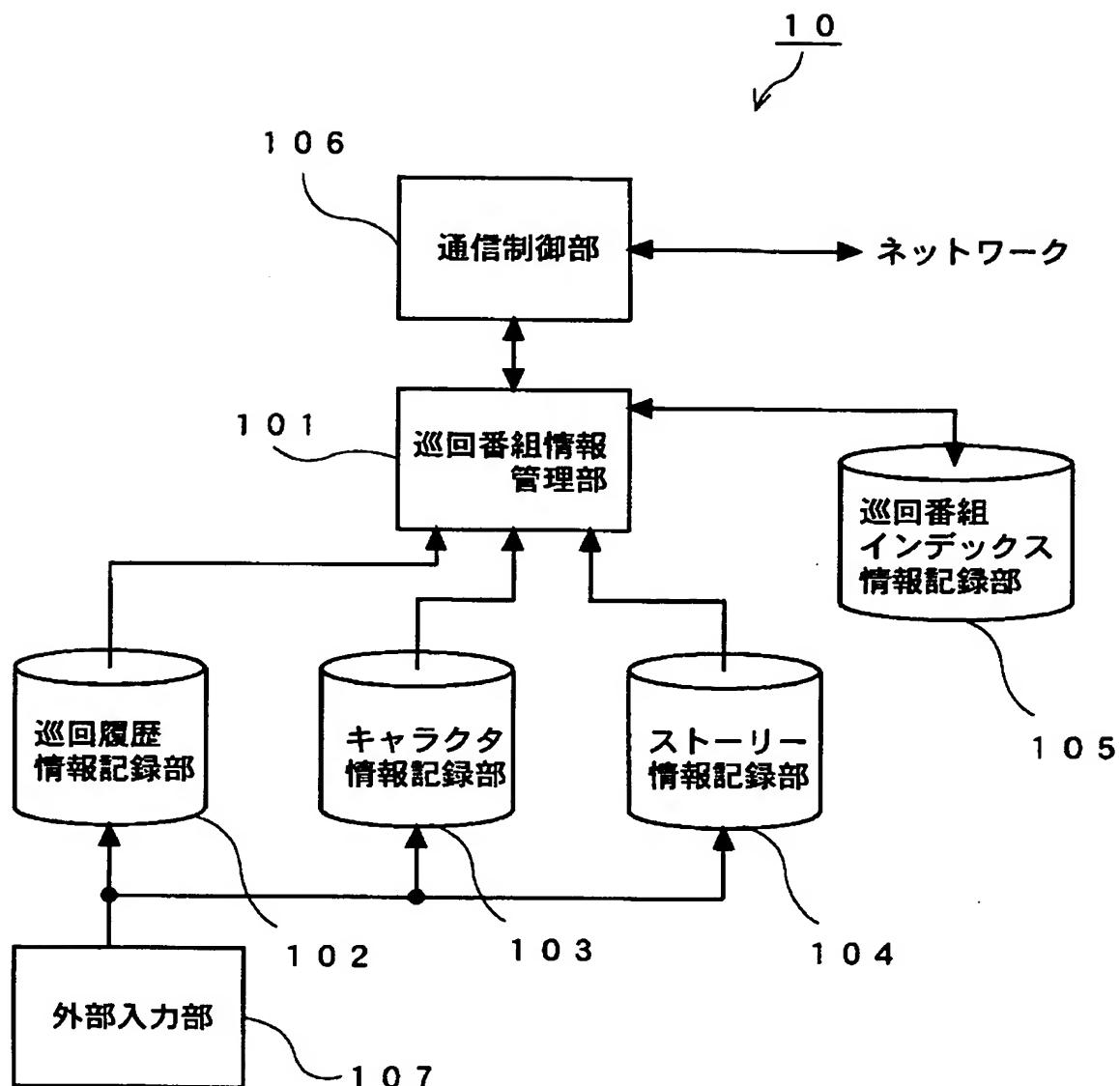
33 カリスマキャラクタのコメントが表示される領域

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



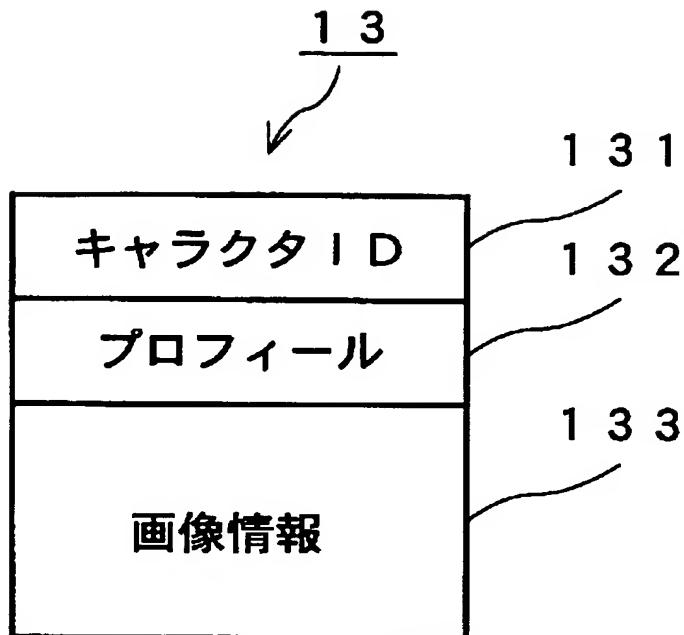
【図3】

巡回履歴ID	キャラクタID	ストーリーID	番組タイトル名	
01	.....	.....	.....	
02	.....	.....	.....	
03	.....	.....	.....	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

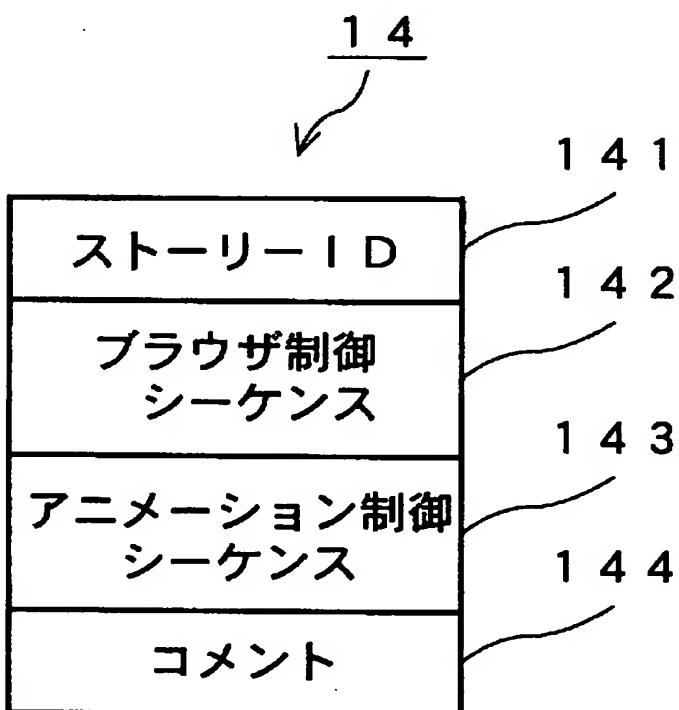
【図4】

巡回履歴ID	121
www.aaa.com www.bbb.com www.ccc.com ⋮	122

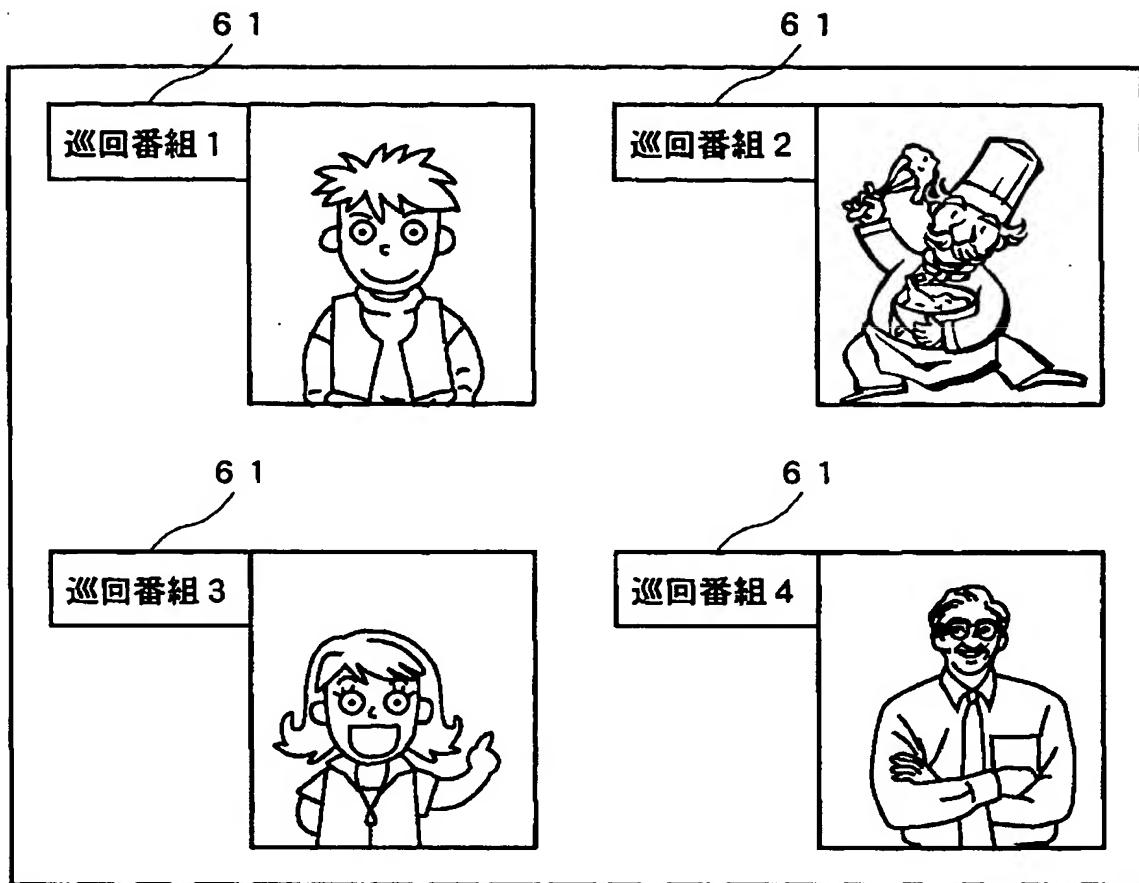
【図5】



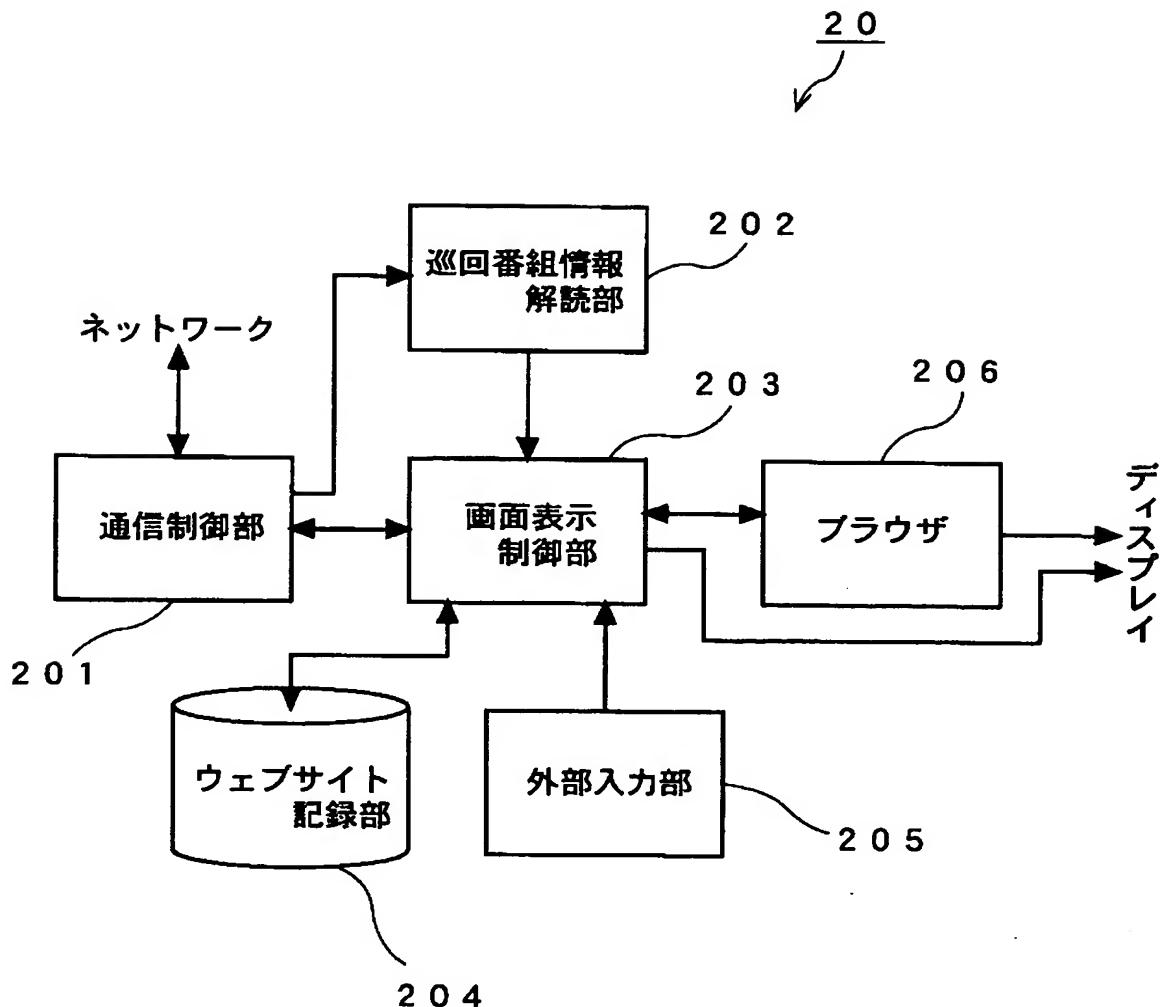
【図6】



【図7】



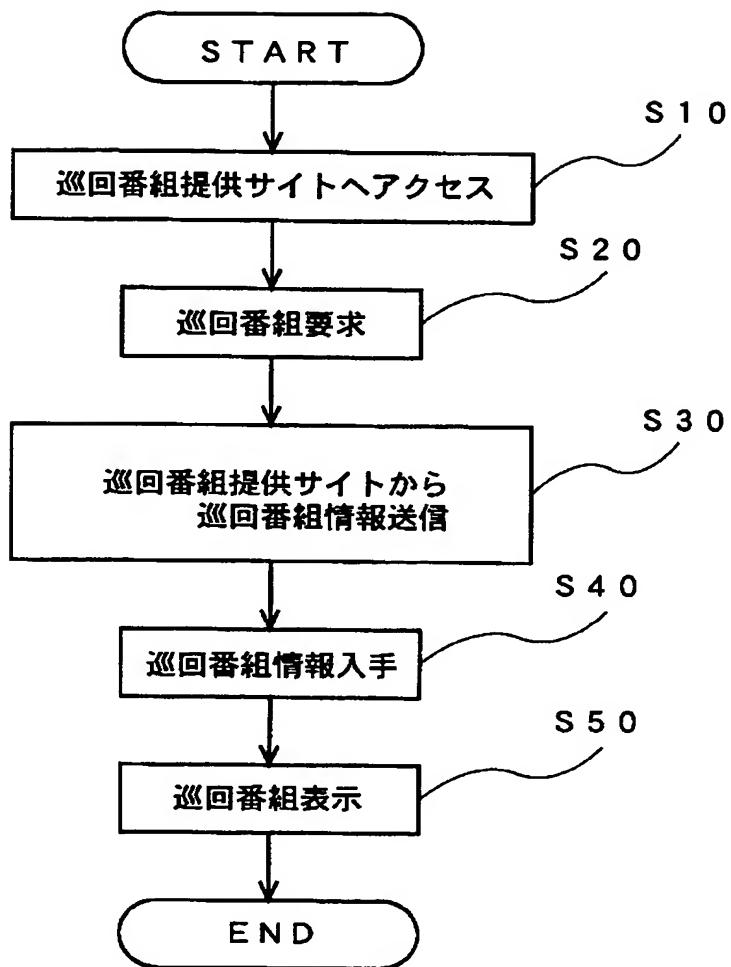
【図8】



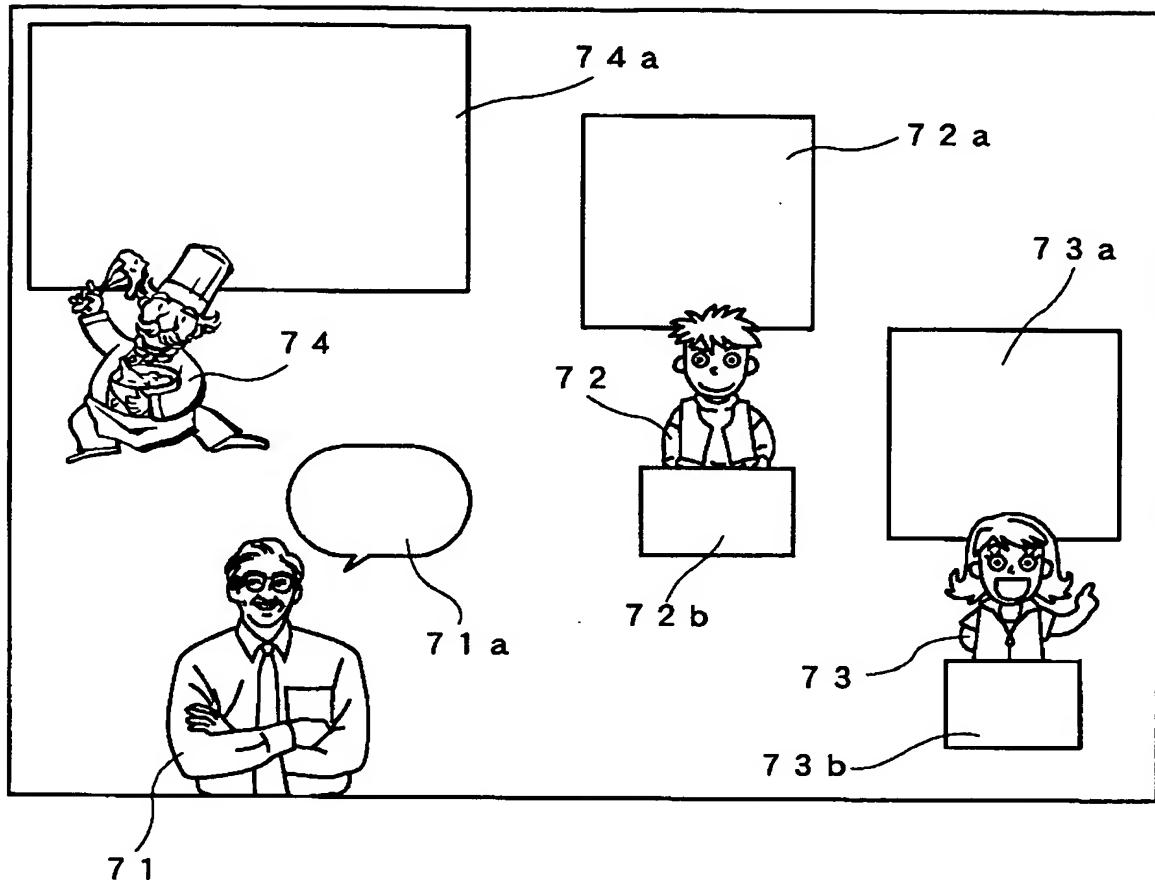
【図9】

時刻	ブラウザ制御 シーケンス	アニメーション制御 シーケンス
0:00:00	ブラウザ起動	キャラクタ表示
0:00:10	URL:www.aaa.com	
0:00:15		コメントA
⋮	⋮	⋮

【図10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行う技術を提供する。

【解決手段】 ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報が記録されるキャラクタ情報記録手段と、巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセストайミングと、キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する巡回履歴情報、キャラクタ情報及びストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備える。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [395015319]

1. 変更年月日 1997年 3月31日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都港区赤坂7-1-1

氏 名 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント